



撮影=岡本 正人

諸岡池

所在地 博多区諸岡 5 丁目 359 番 1 号
 所有者 福岡市
 設計者 株式会社リオス設計事務所九州事務所
 施工者 トークン工業株式会社
 東洋緑地建設株式会社
 用途 親水灌池 (農業用灌池)



撮影=岡本 正人

C部門 (まちなみ・空間)

諸岡池

都市は有機的な生き物だ、と思う。

生命体の維持には、必ずしも美的でない部分をともなう。都市生活者は、時として迷惑だと思ふ施設も都市が生きるために必要だ、とは意識する。それなら、積極的にこういう施設を、身近で美的に自分たちの生活環境に取り込めたらすてきた。

諸岡池は、水の汚濁や事故などで、都市化とともに迷惑施設となりがちな農業用水用灌池を、周辺景観にマッチし、住民に開放的な空間に生まれ変わらせている。事故を恐れて閉鎖的になりがちなこういう施設を、柵で囲い込まず、浅瀬を作って人を水に近づけるといふ空間の再生方法は、利用者に環境は自分の責任で楽しむという都市生活のマネー意識を生む。こういう発想の転換には、大賛成だ。
 (審査委員 山本智子)

D部門 (街角のアクセント)

キース・ヘリング彫刻 (無題)

1994年12月にオープンした「あいれふ」の入口に掲えられた、赤い大きな大を型どった彫刻が目をひく。ニューヨークの若者に圧倒的な人気があったキース・ヘリング (1958-1990) の貴重な作品。福岡の元氣



天神かっぱの泉

所在地 中央区天神2丁目11番1号
岩田屋（天神地下街）
所有者 株式会社岩田屋
制作 吉忠マネキン株式会社



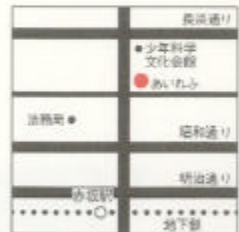
撮影＝岡本 正人



撮影＝岡本 正人

ケース・ヘリング彫刻（無題）

所在地 中央区舞鶴2丁目5番1号
あいれふ
所有者 福岡市
制作 ケース・ヘリング
(1958～1990、アメリカ)



「天神かっぱの泉」は、天神地下街から岩田屋デパートに上がるエスカレーターの横にある。水の階段で遊ぶカッパの家族。父親と赤ん坊を抱いた母親が階段の最上部に座り、その下の階段で、子どもたちが思い思いの姿態で水と戯れている。それぞれの姿がユーモラスではほえましく、奇抜でなく、しかし、どこかステレオタイプを脱している。

2分半ごとに音楽が鳴り、照明が灯り、噴水が噴き上がる。かろやかでぬくもりのある音楽と、水が噴き上がる「ピュエツ」という音が、カッパの家族の水遊び、といった雰囲気をつくってあげている。地下街という人工的空間に、田園的あるいは童話的空間をいやみなく提供したといっ

てよい。

（審査委員 山本 巖）

天神かっぱの泉

を象徴するようなダイナミックで華やかな印象が、市民の生活と健康の拠点「あいれふ」にびったりである。「福岡市彫刻のあるまちづくり」の20件目の選考作品。豊かな景観を彩る彫刻も、やっと板についてきた感がある。ただし苦言がひとつある。せっかくのすぐれた彫刻が周辺の空間や台座への配慮の乏しさによって生かされていない例が多いこと。この作品も芝生面がもう少し盛り上がりたことと惜しまれる。今後も心を豊かにさせる彫刻の展開を楽しみにしつつ、空間としてのトータルな成熟も期待したい。

（審査委員 佐藤 健）